

刊夕日十月三



定額一圓五角... 發行所 常務每日新聞社... 電話 六三〇

ハルピン事變龍城記 (三)

ハルピン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

△一月二十九日

救國鐵血團の横行と兵匪の暴虐とそれ等の恐怖の下に二十九日の夜の幕は閉ぢ犬の子一匹も通らず、町は全く死の都と化し月光皎々たる中に中國巡警の剣尖の閃き、静寂を破りかすかに聞ゆる砲撃又銃聲悽愴の氣實に肝を刺すの感が充つ。

△一月三十日

○四千の同胞の一日千秋の思ひして待つ皇軍は中途、赤系鐵道従事員のために鐵橋鐵路を十數ヶ所破壊、燒却せられて進軍意の如くならず、加ふるに丁趨、刑占清、李杜の聯合軍は獍猛を以て聞える北滿の馬匪賊數千を懷柔して第一線に立たしめ、要害なる陣地を築き専ら吾軍を激撃せんとする勢を示し陰に赤露と相通じて彼の援助の下に皇軍の北上を阻止せんとする現状であるから、これがため吾軍

は前進を躊躇し後方主力部隊の到着を待ち、然る後積極的前進攻撃するものゝ如くである。

朝露の如く消え失せんとせしハルピン國民黨支部は此機に乗じ再び擡頭、逆宣傳巧みに或は「既に我が中國軍は奉天及長春を奪還せり……」或は「本夕日本○○○の武裝解除を迫るべし……」と或は「日本○○○本部の日本○○○を殲滅せよ……」と、これを見、これを聞きたる吾義勇隊員は憤激、犠牲的精神、敵愾心は其極に達し例へ一人生き残るとも吾等は如何で彼の言に服せん最後の一人まで奮戦せんと闘志の意氣は彌々旺盛となつた、少年團員も決死の覚悟の下に、各避難所内にて連絡員として活動す。

「第○中隊は今支那軍に武裝解除せられた」

高月會句抄 (七) (二月例會)

牙え返る

教へ兒の弔詞に寺の牙え返る

待ちなやむ夜の小驛や牙え返る

笑み初めし片山里の牙え返る

一 夢

同

同

車運轉手十數名中舉動不審のもの一名あるを發見し取調べの結果、赤系露人の間諜たりしため、之を捕縛し目第○中隊に監禁するなど龍城以來最も緊張した一日を送つた。

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院

福島縣平町五ノ廿八

福島縣平町白銀町九

産婆 關口 悦子

特賣 特卸 代理 賣部 定價 表

器灸温ムウチラ

堂々

斯界の群を抜く

セリザワタクシ

最高級車プロモス號増車致しました 何卒御用命の程御願ひ致します

電話三九五番

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 難波 睦

電話五〇二番

生徒募集

一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス
一、申込期日 四月八日迄

平一丁目

石城看護婦學校

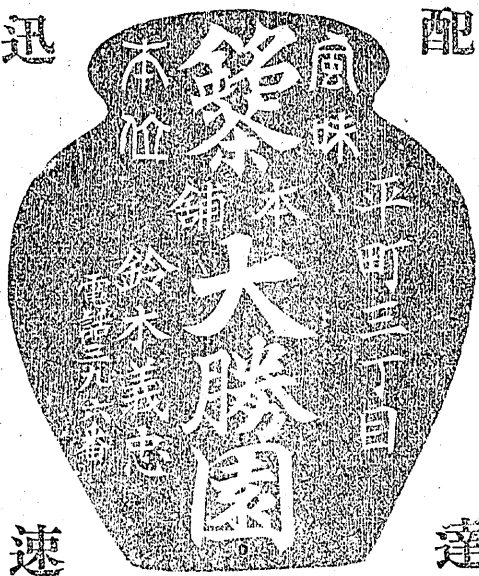
校長 鷹崎 千代 電話三五七番

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 二十五錢



迅

速

六日 開催 詩南社短歌會詠草

思 (一)

うら悲し思ひせまりて松の葉をかめばすかしもほろにがき味 戸部 曙 月 選炭場の埃の中にいつとなく消耗される若さを思ふ 小 山 田 滋 流弾にはかなく散るものよを猛きごころかはらしと思 宮 田 青 波 世にあらぬ友と思へず古手紙讀めば面わの俣ばれに つ 思ひ出は春の野に嘯むすかんばの柔かき蒸の味にあ りけり 美 崎 一 郎 やはらかき餅草の芽を見し時に思ひの端はほぐれけるかな 小 山 田 滋 鐘の音を聞きつゝ眠る秋の夜に母の逝きしを思ひ浮べり 佐 藤 行 雄 ひとの世は淋しきものをいくたびか亡き人想ふ月ぞ 悲しき 湯 淺 榮 美 花 おさな兒と語れば樂し心はく何思ふてかひとり微笑む ひし〜と思ひはそほる醉さめて未だし春の寒さを おぼゆ 松 村 清 ぼろにがき我思ひ出に似たるかな土にとけゆく春の 淡雪 萩 原 た け 冷しるき夜を衣かへき思ひせる雪の曠野に見とれる 君 我おもひつきつめて行くになぐさまず冷ゆる小床に 寝りにつ 山 野 邊 青 甫 たれこめて一日経ぬればわが思ひとりとめもなき事 にふれぬる 年々に忘れて行くなき人を今日は思へり在りし面 影 大 竹 秋 平 樹下より樹下をつたひ思より思をたどり獨り歩めり 我が想入れられぬ悲しさに下駄踏みならし歸り來た れり 吉 田 一 世の中の誰もがにくくてならぬ日ありてこんな日し みじみ死なんと想ふ たまたまに雪ふりしる野を行きて與滿州のものゝ 夫を思ふ 歌作ると想ひ耽ければいたつきの身のはかなさよも し思はな 高 久 晚 霞

財源難の

苦境切り抜けに 各町村四苦八苦

石城各町村は目下豫算編成期の経過した今日においても當歳入の極度の減少から財源捻出に何れも四苦八苦の状態に郡下主要町村は漸く曲りなりにも前年度の豫算を踏襲して豫算編成を済まし議したがこの苦境の切り抜け策に相當の苦心が拂はれ各方面からその内容如何は論議の中心點となつてゐる一面において町村會を開き得ぬ二十數町村は編成期を前に一般からその成り行を注目されてゐる

郡農會が

毒藥

取扱注意

農作物の病害虫防のため最近農用藥劑として毒藥の使用が行はれてゐるに伴ひこれが購入斡旋に當るものにして思はぬ中毒を受けるものがあるので石城郡農會では縣廳からの注意あり右の注意方を郡下に通牒した

利益の 大半は 仲買人に

漸く眼が覺めた製炭業

石城郡箕輪、永戸、澤渡三ヶ村の木炭同業者が製品の販賣統制を計る爲め組合組織の運動を起した事は既記の如くであるが石住、貝泊、荷路夫等の部落に於いて統制機關のない結果製品が木炭ブローカー及び木炭移出商の手に移る結果利益は是等仲買人に占められ一俵の純益僅か十五六錢に過ぎない有様なので前記山間地方の木炭生産者は漸く自覺し組合組織の計畫に努力し始めて

大兎作の年に

酷似した天候

憂慮される農作物

有機物を澤山施せ

昨冬以來天の不順なる候は農作物に甚大の影響を及ぼすものと憂慮されてゐるが石城農事試験分場の調査發

表する所によれば丁度大兎作だつた明治三十九年の氣温に酷似し今後春先から夏にかけてなほこの不順な天候が續くものと見られ一般農作物に對する善後策としては有機物を澤山施す事によつて地温を暖める事が肝心で堆肥及草木炭等を増施するやう心がけられたいと語つた

中堅 農民 講習

廿三日終了式

既報石城郡農會主催中堅農民講習會は去月中より同所樓上に催され郡下各村より九十五名の講習生が連日聴講中の處同講習も本日をもって終了する事になつたので廿三日午前十時より終了式並に修業證書授與式を舉行する

町村長 支會協議

石城町村長支會では來る十六日午前十時より町役場會議室に於いて總會を開會四月より新設される蠶業取締支所の寄附敷地の決定並に同月催される忠魂祭に於ける各催し物の豫算等に就いて協議を行ふと

平町人事

回出生

△久保町當時北海道函館市船見町四十 田榮憲三氏 方 平三郎

募 三勇士 遺族の 弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未嘗有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとす誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國軍の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり。 名將曰く『吾が皇國も三勇士ありて亡びず』と眞に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり。 然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり。 吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす。 愛國の士奮つて贊せられんことを

主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

- 一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます 二、右弔慰金は平驛前丸ツ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ 三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

寄附者芳名 第六回分

平武丁目	石川友次郎	田町	五十嵐小平
同	石川 榮一	同	同 平倍
同	石川 トヨ	同	同 シノ
同	石川 榮子	同	同 ヒロ
同	石川 清子	同	同 進
同	石川 美子	同	同 森本
才植小路	佐藤 留治	同	同 盛一
長橋町	佐藤 英一	同	同 稻
搔樋小路	馬 上 榮	同	同 小山田吉治
武丁目	山田 利夫	同	同 俊夫
同	矢田部 功	同	同 比佐 ミナ
同	矢田部 勲	同	同 鈴木條三郎

三日間の講習で

剣道師範養成

各町村を巡回せしめ

剣道の普及を圖る

既報九日午後一時より平署會議室に開かれた武徳會石城支部剣道部の役員會協賛の結果同會では剣道師範養成の爲め福島支部小川教師を招き十八日より三日間平署道場に於いて寸暇なき猛烈な講習を行ひ其終了者を師範となし郡内各町村に毎月講習會を開催して剣道の普及を圖る事に決定したと

五件に比し今年は一平町根本孝(三)の窃盗事件に對する懲役一年、内都村宮石井敏雄(三)の窃盗事件に對する懲役一年の三件に過ぎず近年にない稀しい閑散さであつたと

奉天戰を

想ふ

平商の講演

いふの陸軍記念日に平商業學校にては本日午前九時より同校々堂に於て陸軍記念日の催しとして駒場教官より陸軍記念日に當り其の當時を思ふと題する講演があつた

稀らしい

閑散さ

平區裁判所の

結審事件

平區裁判所に於ける二月中の決審刑事件数は昨年前十

公園の賣店

今年の内切りは例年よりも早い

櫻花時の松ヶ岡公園地内に設けられる臨時賣店は年々應募者が豫定数を突破する爲め町役場では抽籤に依つて是れが決定を行つて居たが本年は殊に博覽會を中心として各種團體の會合や催し物が開催されるので公園八ヶ所の賣店は今から各商

高野四郎に

懲役十一年求

強盜殺人未遂事件

昨日の公判

平町鍛冶町高野四郎(七)が昨年十一月二十六日午前九時五十分頃同町白銀町長樂軒女給朝鮮人朴萬和と戀仲となり同棲すべくその金を調達せんと強盜

を企て平町二丁目望月金物店より金櫃を買ひ求め平南町飲食店佐藤家へ登樓し飲酒の上女將佐藤サツ(五)を殺害せんとした強盜殺人未遂事件の公判は昨日午後二時半平支部に於て中島裁判長關口、西村兩陪席判事係り市川檢事立會大嶺安濟兩辨護士列席の上公判開廷されたが

検事より懲役十二年

の求刑あり後大嶺安濟兩辨護士何れも強盜の意志なく單純なる傷害に付減刑されたき旨の辨論あり午後一時半閉廷言渡しは来る十六日午前九時である

古強者

相寄り

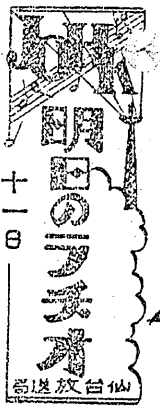
遺族慰問協議 石城郡夏井村在郷軍人分會では本日午前十時より小學

悪代書人

大審院で上告棄却

石城郡上遠野村大字上遠野町字本町の司法代書人上遠野野喜一郎は昭和五年四月頃同村大字瀧雲藤震平外七名が福島縣農工銀行より抵利資金

借入れの爲め之が抵當權設定の依頼を受けたる際委任状及實印を偽造し農工銀行平支店より二千圓餘を詐取し平町四丁目裏飲食店林家抱酌婦佐藤うめ(三)を身受けし連れ立つて東山



今晚も明日も 北東の風曇り 雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 ラヂオスケッチ「陸軍記念日」東京放送童話劇協會
- 後七、三〇 「陸軍記念日の夕」(講演陸軍軍創始) 法學博士尾佐竹猛(吹奏樂日本陸軍の歌)戸山學校軍樂隊 講演戰役篇(吹奏樂)某次長真崎中將(軍歌)明治大正軍歌(陸軍)戸山學校
- 後九、三〇 奉天より「狀況送瀋陽篇」關東ぐん氣象通報 番組豫告
- 明日の部 前九、一〇 料理献立「ピエ」フエス(松本良雄) 前一〇、三〇 家庭講座

女房の

自殺

病氣を 苦にして

石城郡磐崎村藤原理髮職星太吉の妻ミスイ(三)は今朝三時自宅にて縊首自殺を遂げたが原因は不治のリュウマチスを患つての爲である

國防講演

湯本町に開く

石城郡湯本町在郷軍人分會では本日陸軍記念日に當り同町出身參謀本部付若松七郎大尉を講師として午後六時より小學校に於いて時局國防講演を行つた

川部村の火事

郡川部村五十嵐炭坑坑夫長屋居住の鈴木岩太郎方より八日午後十一時頃發火住宅一棟を全焼したが原因はガ

平職業紹介所報告

求人各部

- 倉働 廿五才、尋卒、給料面談 四倉某醬油醸造業
- 女中 四五才迄、月五圓位(富岡驛前某旅館)
- 女中兼兒守 一八才、尋卒、仕着外四圓(四倉町某)
- 洋服徒弟 一八才位、尋卒、仕着小遣(平町某洋服店)
- 求職各部
- 旅館番頭 卅五才、給料面談(磐崎村某)
- 事務員 卅才、南卒、給料面談(平町某)
- 土工夫 卅四歳、尋卒、給料面談(平町某)
- 配達 廿二歳、中學半退給料面談(湯本町某)

市原醫院

平町 田町 電話一四番

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

別れ路 (3)

それに立派な資本主がついてるんだつて、何でもね男爵とか子爵とかの未亡人だつて、會社ぢや大變な評判よ、必とその女も一緒についてゆくんだらう、道行興行だつて皆が笑つてゐるわ」

「ハ、ハ、ハ、役者なんかそれで持つたものさ、が、男爵未亡人たなんていふ話を聞くと、若しやあの奥さんぢやないかと直にそこへ氣が廻るから妙で」

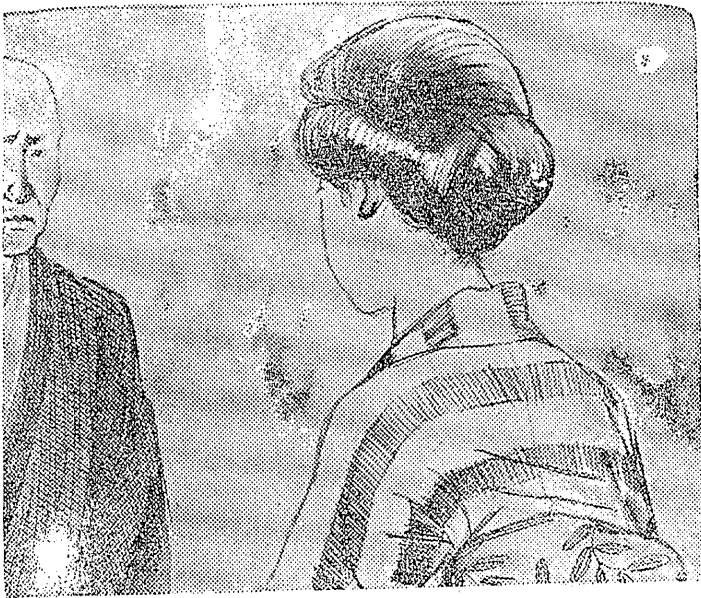
「まさか、で社のお突合でね、横濱まで見送りにいかなければならぬから丁度好いわ、一緒に御見送りをお送りませうよ」

「あ、然うなすつて下さい私もお供をしますから……」

時にお嬢さん、歌の奴から大變な手紙を送つて來ましたよ、そらこの通りだ」

千代子が読んで見ると舊の支配人川島秀雄が花柳社會に入浸つて豪遊を極めた事實……何月何日何處で一座に誰々どんな話をし……といふやうな細かいこと

まで調べあげた川島の秘密であつて、早乙女だの植野だの名が幾つも出てゐた。そして仕舞に來てから『私でさへ是だけの探偵をしたのにお前さんは一体今まで何を爲てゐました、川島のために坊主にさせられ



てそれで泣寝入とは情ないぢやありませんか、坊主だつて學丸はあるでせう、しつかりなさいよ、江戸ツ子の面汚し』と書いてあつた『アハ、こんな憎まれ口を聞きやあがつて親父の攻撃をしてゐるやあがる、いや始末にいけない阿婆婆れ婆

者さ、私たつて只グータラにお墓の番をしてゐたんぢやない、今までのうちに方々駆廻つてそつちで聞き此方で尋ね川島の奴の腫疵をすつかり洗つてやりました、御覽なさい、此通り證據を蒐めましたから」

類が入れてあつた。『これだけ材料が手に入つたが只一つ足りない物があつた、それは川島の不正事實を一番よく證據だてゝゐる所ら、いつか紛失した燃え残りの紙屑だ、あれが発見すると一も二もないんだがな

とを言ひ置いて歸つた。『淨念は不思議さうに首をひねつたが分らなかつた、兎に角出かけて見ることになつた。』

「さう話してゐるところへ深川警察から小使がやつて來た、そして横濱警察からの召喚方の依頼があつたことを言ひ置いて歸つた。

「いや、知つてやあゝあゝあゝ」

「ア、淨念は口惜さうに言つた。『ほんとうに有難くつて涙がこぼれるわ』

千代子は目を潤まして『あの爺や、歌ちゃんはお兄さんが明日立つのを知つてゐるでせうか』

「いや、知つてやあゝあゝあゝ」

「ア、淨念は口惜さうに言つた。『ほんとうに有難くつて涙がこぼれるわ』

千代子は目を潤まして『あの爺や、歌ちゃんはお兄さんが明日立つのを知つてゐるでせうか』

「いや、知つてやあゝあゝあゝ」

「ア、淨念は口惜さうに言つた。『ほんとうに有難くつて涙がこぼれるわ』

千代子は目を潤まして『あの爺や、歌ちゃんはお兄さんが明日立つのを知つてゐるでせうか』

「いや、知つてやあゝあゝあゝ」

時は春!!!

◎新入學生の通學に…… ◎ゼヒ必要な時計を……

營業種目
時計 眼鏡
指輪 電燈
其他貴金屬

白寶堂時計店

(平町新町川町諸橋吳服店向)

大塚の 學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……
大塚支店製靴部
電話七七番

磐城セメント會社特約店
久全屋瓦店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久全の生命なり
小兒ノかんむしニあかひき丸堀藥局
平町二丁目 電話三二六

江戸前料理 會客
御重入辨當
寄なべ はまなべ 鳥なべ
ちりなべ かきなべ
ゼヒ一度御試食下さい……
出前迅速 錦水
田町末廣東隣り(電話四五四番)

高橋時計店
貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミガヨ電氣
ランプ特約店
平町搔槌小路

銀駒込館
東京市本郷駒込追分町
(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分、電車約十五分)
電話(小石川)三二六五番

印刷御用命は總て
常磐每日印刷株式會社
電話三六〇番